

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害等、緊急時の対応について、通報訓練や総合避難訓練を実施しているが、全職員の防災に対する意識を高め維持していくために、多様な状況を想定した防災訓練を数多く行う必要がある。	1.災害対策マニュアルを見直し、事業所の実情に合ったものを作成し、全職員が新しいマニュアルの内容を把握できるようにする。(火災、地震、風水害)	①所長、防火管理者、管理者、介護長で現在のマニュアルの再検討を行い、原案を作成する。 ②全体会にて原案をもとに新しいマニュアルを作成する。 ③全職員(常勤、非常勤)へ配布、周知する。 ④定期的にマニュアルについての再確認を行う。	6ヶ月
			2.多様な状況を想定した訓練を計画的に実施する。	①消防署の指導を受け避難訓練を実施する。(年2回) ②毎月、防火管理者を中心に火災、地震、風水害等を想定した、事業所内での訓練や防災に関する話し合いを実施する。 ③随時、新聞記事などを基に災害発生事案等の事例検討会を行う。	24ヶ月
2	48	「楽しみごとの支援」について、行事やレクリエーション等の楽しみはあるが、個人個人の楽しみについて深く考え支援していきたい。家族アンケート項目にもある「本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになった」「職員に支援されながら行きたいところへ出かけている」等のサービスの質の向上に繋げて行きたい。家族アンケートからは、今のサービスに本人、家族全ての方が満足しているわけではない状況が見えてきた。	本人、家族、職員で「本人の楽しみごと」について考え話し合い、支援していく。本人から要望を引き出せるように努め、自己表出が難しい利用者様については、担当の介護職を中心に本人本位に考え推察する。	①普段の会話や関わりの中から、本人の楽しみを探っていく。自己表出が難しい利用者様については、本人本位に考え探よう努める。 ②楽しみが見つからない場合は、ルーム長、担当介護職員を中心に職員で考え、楽しみを提供する。 ③利用者様ごとにホームで実現できそうな楽しみについて、時期や支援方法等を具体的に話し合い、チーム内での共有を図る。 ④順次、介護計画見直しの際に、「本人の楽しみ」についての検討を行い、介護計画に取り入れ実施していく。 ⑤楽しみごとの支援により、本人、家族、職員にどのような変化があったかのモニタリングを行う。	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。